

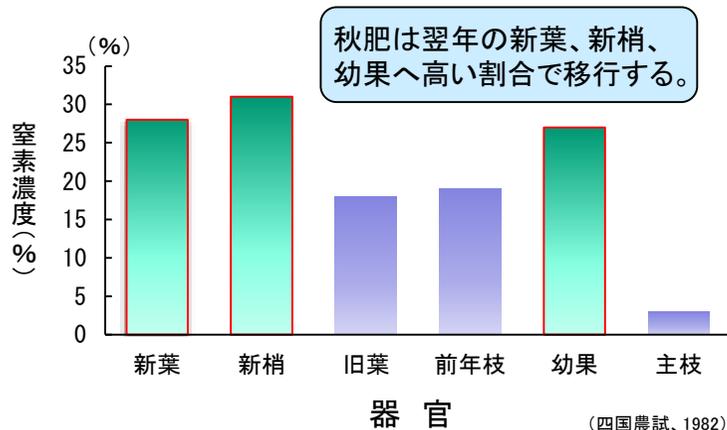
# 温州ミカンの秋肥施用の効果と施用時期

秋肥は①なり疲れによる樹勢の回復と耐寒性の向上(礼肥)②翌春に発生する新梢や花(幼果)の形成を促進(基肥)効果がある。地温が低下しない11月上旬の施用が最も効果的。

地温の推移 (2017-2018、果樹研)



秋肥の翌年の各器官への移行



秋肥の葉・果実への移行

施用時期を変えて葉・果実への移行割合を調査

○葉への移行



○果実への移行



地温が低下する前に施用することが大切